



**REHACARE 2023 国際リハビリテーション・福祉・介護機材展**  
**ファイナルレポート**  
**2023年9月13日～16日 / ドイツ・デュッセルドルフ**

**ヘルスケア・マーケットにおけるインクルージョンとデジタル化への強力な  
シグナルを発信**

**700** を超える出展者は **30,000** 名のビジターに対し自社製品・サービスを **REHACARE** で発表

9月13日から16日までの4日間、デュッセルドルフでのリハビリテーションと介護の国際見本市 REHACARE は盛況のうちに開催された。ヘルスケア・マーケットにおけるインクルージョン、デジタル化への強いシグナルを発信した今回の REHACARE は、関連協会、



自助グループ、ユーザー、メーカーなどの関係者を一堂に集めて、ヘルスケア業界の今後について話し合い、より多くの人々のインクルージョンや支援への資金提供のためのイノベティブな解決策に取り組んだ。

37 か国から 700 を超える出展者が、バリアフリー設備、日常生活用モビリティ、歩行補助具から子供用補助具まで、さまざまな新しいイノベーションを発表した。また、リハビリテーションと介護に大きなイノベーションをもたらすデジタル化やロボティックスの進化についても多数紹介された。デジタル看護支援システム、遠隔医療アプリケーション、看護ロボット、スマート介護ベッド、その他多くのイノベティブな製品は、患者、入所者介護の向上、業務効率の向上、全体的な生活の質の向上を約束したものとなり、参加者からの高い評価を得た。

REHACARE の重要性は今回もヘルスケア産業のためのプラットフォームとして機能した。出展企業は最新の製品と技術を幅広い専門家や関係者に自社ブースや展示ホールで発表し、30,000 人を超える来場者との有益な商談やコンタクトを行った。

「国際的な多数の参加者、可能性の高いイノベーション、政治的意義や教育的提供などにより、REHACARE はリハビリテーション、介護、インクルージョン、アクセシビリティに関する国際的な議論に大きく貢献しています。協力を促し、障害者、高齢者の生活の質の向上にも貢献しています」とメッセ・デュッセルドルフの取締役、M.デーゲンは今回の開催についてコメントした。出展者も自社のビジネスにとって国際的な同展の重要性と関連性を確信しており「REHACARE は当社にとって最も重要なメッセの 1 つです。市場の国際化が進んでいることから、同展は当社のイノベーションを成功裏に紹介できる素晴らしい機会であると考えています」と、ドイツの出展者、HomeBraceGermany の創業者、T.ロズナーはコメントした。

REHACARE プロジェクト・ディレクター、H.ニーマンは参加者からの前向きな反応に満足しており、「REHACARE 2023 はイノベーションと製品を発表しただけでなく、より包括的な未来への道筋を示しました。これを実現してくれたすべての来場者、出展者、後援団体に感謝します」と今回の成功を総括した。

REHACARE はメーカー、専門家や業界関係者とコンタクトを開拓するために不可欠なフォーラムでもあるため、同展への介護福祉用品店や専門小売店からの来場も高い割合となった。また、エンドユーザー、介護施設、医療施設との直接対話も多く、個々の懸案をより深く理解する機会も提供した。これは様々な補助機器や介護機器を最適化し、可能な限り最高のサポートを今後提供するために非常に重要と言える。

日本から今回も 2 社の出展参加があり、ヨーロッパを中心としたマーケティングや幅広く全世界のマーケット開拓を目指しての展示や商談を行った。

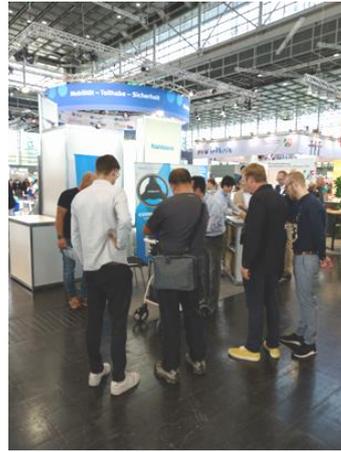


そのうち 10 年以上の継続出展で、高機能性クッションを出展した株式会社加地は次のようにコメント。

「昨年以上にターゲットとする業種の来場者が多く、今後の商談次第とはなるが良い商談が出来たと感じている。既存の代理店と取引継続についての商談。欧州各国代理店候補との商談などが出来た。サンプルを送り、市場にあったモデルの選定を行いたいなどの具体的な話も頂けている」

歩行車用抑速ブレーキユニットを出展したナブテスコ株式会社は次のようにコメント。

「初めて海外の展示会を企画、出展したため、戸惑うことが多かったが、MDJ にフォローいただき何とか出展にまですることができました。出展の成果も非常にあり、商談の第二段階に進むこともできました」



#### サポート・テクノロジーと包括的デザインの未来:

REHACARE の 1 つのハイライトは、ロボット工学など、最先端技術を応用した義肢などを使用し、障害者が競技に挑むスポーツ・イベント、CYBATHLON プロジェクトであった。ここではサポート・テクノロジーと包括的なデザインの未来に焦点が当てられた。

CYBATHLON のブースでは、国際チームが日常生活の課題に対する最新テクノロジーのライブデモンストレーションを行った。来場者はこの場でテクノロジーを体験し、サポート・テクノロジー分野におけるユーザーベースの研究開発について学ぶ機会を得ることができた。

「私たちは再び REHACARE 2023 に参加できることを大変うれしく思います。世界最大のリハビリテーションとケアの同展は、私たちに有益なプラットフォームを提供し、この場で『自己決定の生活-self-determined living-』という共通のビジョンを共有できることをうれしく思います」と CYBATHLON のディレクター、A.カーンはコメントした。

#### さらにアクティビティやスポーツが充実

ノルトライン ヴェストファーレン州障害者・リハビリテーション・スポーツ協会 (BRSNW) が主催するホール 7a のスポーツセンターでは、障害のある人も持たない人も、インクルーシブ・スポーツの喜びを今回も体験した。セーリングからパラゴルフ、登山やダンスまで、幅広くスポーツを体験する機会が数多くあった。

REHACARE 2023 は、今年、デュッセルドルフでも開催の負傷軍人らのスポーツ・イベントでもあるインビクタス・ゲームのイベント・パートナーでもあり、同イベントとの成功にも貢献した。

REHACARE 2023 の会期中の以下のハイライト動画をリンクよりご覧いただけます。どうぞお楽しみください。

<https://www.rehacare.com/en/business/highlights-rehacare-2023>

### Highlights of REHACARE 2023



次回 REHACARE は 2024 年 9 月 25 日～28 日にデュッセルドルフで開催される。

REHACARE に関する日本でのお問い合わせは：

株メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：服部

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959

[mdj@messe-dus.co.jp](mailto:mdj@messe-dus.co.jp) <https://rehacare.messe-dus.co.jp/>